



# れんげそう

令和7年1月8日  
福生第五小学校  
学校通信第569号

## 新たな1年

校長 泉田 巧人

新年あけましておめでとうございます。新たな1年が始まり、皆さんはどのように過ごされましたでしょうか。私の家では1月2日にケーキ対決を行いました。これは、コロナ禍で外出ができなかったとき、ちょっとした楽しみを味わえるように、子どもたちが二人対三人の2チームに分かれてケーキを作り、対決をしたことから始まりました。今回は、「令和7年」というテーマで各チームが設計図やレシピを考え、決められた予算で、自分たちだけのケーキを作りました。なんと出来上がったケーキは、両チームとも大阪万博の公式キャラクター「ミャクミャク」をモチーフにして作られていました。モチーフは同じでも、形、色、味、食感等はそれぞれの個性がありとてもおいしかったです。



拝島駅から見る朝焼けの富士山

このケーキ対決を機会に、あまり関心を寄せていなかった令和7年に行われる大阪万博について調べてみました。万博とは、「国際博覧会条約」で定められており、万国（世界中のさまざまな国）が参加する国際博覧会のことです。大阪万博では、世界中全ての人にとって「幸せな生き方とは何か？」を考え、「“すべての”いのち輝く未来社会」のためにアイデアを出し合ったり、解決方法を考えたりしてほしいという思いを込めて、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げています。「誰一人取り残さない」ことを誓い、国連で採択された世界共通の持続可能な開発目標「SDGs」の取組みに貢献し、少しでも早く目標達成に近づくことを目指しているそうです。そして、公式キャラクター「ミャクミャク」は、細胞と水が一つになったことで生まれた生き物だそうです。愛称のコンセプトの一つは、今まで「脈々」と受け継がれてきた人間の様々な素晴らしさをこれからも「脈々」と未来に受け継ぐという意味をもっているそうです。本校においても、SDGs に対する教育を推進し、優しい心がミャクミャクと受け継がれるような学校にしていきたいと思えます。

今年の干支は、「乙巳（きのと・み）」です。蛇は、古くから様々な吉兆や繁栄、財運の象徴とされてきました。また、「新しく生まれてくる」、「将来・未来がある」という意味もあります。これは、脱皮を繰り返すことから生命力や再生、変化と進化の象徴ともされてきました。子どもたちには自分を良い方向に変えるため、新たな1年の目標を立て達成に向けて進んでほしいと思えます。失敗もあるかもしれませんが、生命力と再生力の強い巳年なので、何度でも立ち直りチャレンジできるのではないのでしょうか。諦めず努力を続けていってほしいと思えます。

保護者、地域の皆様には、様々な面で御協力をお願いするとは存じますが、どうぞよろしく願いいたします。本年が皆様にとりまして良い年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。